

2011年第1回 IEEE 福岡支部理事会議事録

日 時：平成 23 年 1 月 29 日（土）12:00～16:00

場所：九州先端科学技術研究所（九州先端研 ISIT）会議室

出席：笹尾，末次，窪寺，庄山，渡辺，興，勝木，西野，二宮，楯崎，井上，山下，谷口，西本，
諸岡，荒木，川根（事務局）

欠席：岡田，内田，常田，大久保，乃万

議 題：

0. 議事に先立って各委員による自己紹介があった。

1. 前回議事録の確認

末次前 Secretary より議事録案の概要説明があった。

2. JC 理事会報告

岡田 Past Chair の代理で窪寺 Secretary より 2010 年 12 月 14 日開催の JC 理事会の議事内容の説明があった。

- ・ IEEE 本部役員選挙コンテスト結果報告について，日本人の立候補者支援のために投票率を上げる試みがなされた。
- ・ 新しい JC 執行部について報告された。
- ・ 福岡支部からは TENCON2010 が成功裏に終了した旨を報告した。
- ・ Japan Office 事務所開設について紹介があった。これについては JC との関係等もあり今後どのような活動をするのかを注視することとした。

3. 連合会報告

窪寺 Secretary より 2010 年 11 月 26 日開催の連合会新旧引き継ぎ会の議事内容の説明があった。平成 22 年度の連合会では招待講演 2 件を含む 614 件の講演があった。平成 23 年度は佐賀大学で 9 月 26 日，27 日の両日開催される。

平成 23 年度からは連合会は単年度決算となることから副当番学会の負担金を 3 万円から 5 万円にすることが提案され，支部としてこれを認めた。

4. 支部活動状況および会員数の報告

支部主催，共催，協賛の研究会，講演会の開催状況について窪寺 Secretary より報告があった。TENCON2010 は支部共催ではなく支部主催行事とする。各 Chapter の活動実績をここに反映する必要性について議論したが，開催数が 10 件を大きく超えている現状では必要性は低いと判断された。共催，協賛の別ならびに支部への報告については継続審議とする。

支部内会員数の推移について報告があった。総会員数は昨年 1 月時点より増加しており，Member 会員の増加が反映されている。後述する Senior Member 増加のための支部による組織的な upgrade 作業について意見が出された（6. その他に詳細）。

2010 年予算執行状況と 2011 年予算案について報告があり，提案どおり承認された。収入は実績ベース，支出は前年予算案に準じている。TENCON2010 支援費 100 万については荒木委員より報告があった（詳細後述）。国内他学会では繰越金は廃止する傾向にあるが，IEEE は本部がアメリカにあることから国内他学会と同じ扱いとはならないので当面はこの程度の額（200 万円弱）を繰り越すこととした。

5. 福岡支部学生研究奨励賞について

植崎前 SAC Chair より審査結果の報告があった。応募件数 33 件に対して上位 11 件までを受賞対象とすることとした。今年度から九州支部大会国際セッションでの発表は対象外となったことから、この国際セッションの発表に対して発表奨励賞（仮称）を設けることとした。

6. その他

6-1 TENCN2010 報告

2010年11月21日から24日まで福岡市で開催された TENCN2010 の開催報告が荒木 TENCN Organizing Chair よりあった。トータルで 560 名の参加があり成功裏に終了した。未確定ではあるが会計収支報告がなされ、次のことを確認した。福岡支部から借入した準備資金 100 万円を支部に返済する。会議での余剰金（100 万強）を福岡支部に納める。

6-2 Senior Member upgrade について

Senior Member upgrade について末次 Vice Chair より提案があった。福岡支部における Senior Member upgrade 対象者（7年以上の会員歴）を組織的に Senior Member に推薦するシステム作りを行う。まず理事のなかの対象者が率先してこれを行うことになった。渡辺 MDC Chair と末次 Vice Chair とがこれをサポートし、次回理事会開催時までに進捗を報告する。

6-3 国際会議準備資金について

国際会議準備資金（仮称）を福岡支部で行うことができないか末次 Vice Chair より提案があった。スポンサーシップ、金額、対象団体等について議論を行ったがまとまらなかった。末次委員から具体的な会議開催予定があるとのことなので、モデルケースとしてこの会議に資金提供を行うことで進めることとした。次回理事会時に会議内容とともに資金提供の案について報告してもらう。

6-4 支部 HP 管理者の交代について

支部の HP 管理者を窪寺 Secretary の所属する宮崎大学から選ぶこととした。学生には年間 2 万円のアルバイト代が出る。

次回理事会は 6 月 11 日（土）12 時から ISIT にて行う。

（議事録作成：窪寺 昌一）